

平成28年度 第1回 浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 次第

日 時 平成28年7月27日(水)
15:00～16:00
場 所 本庁舎4階 政策会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

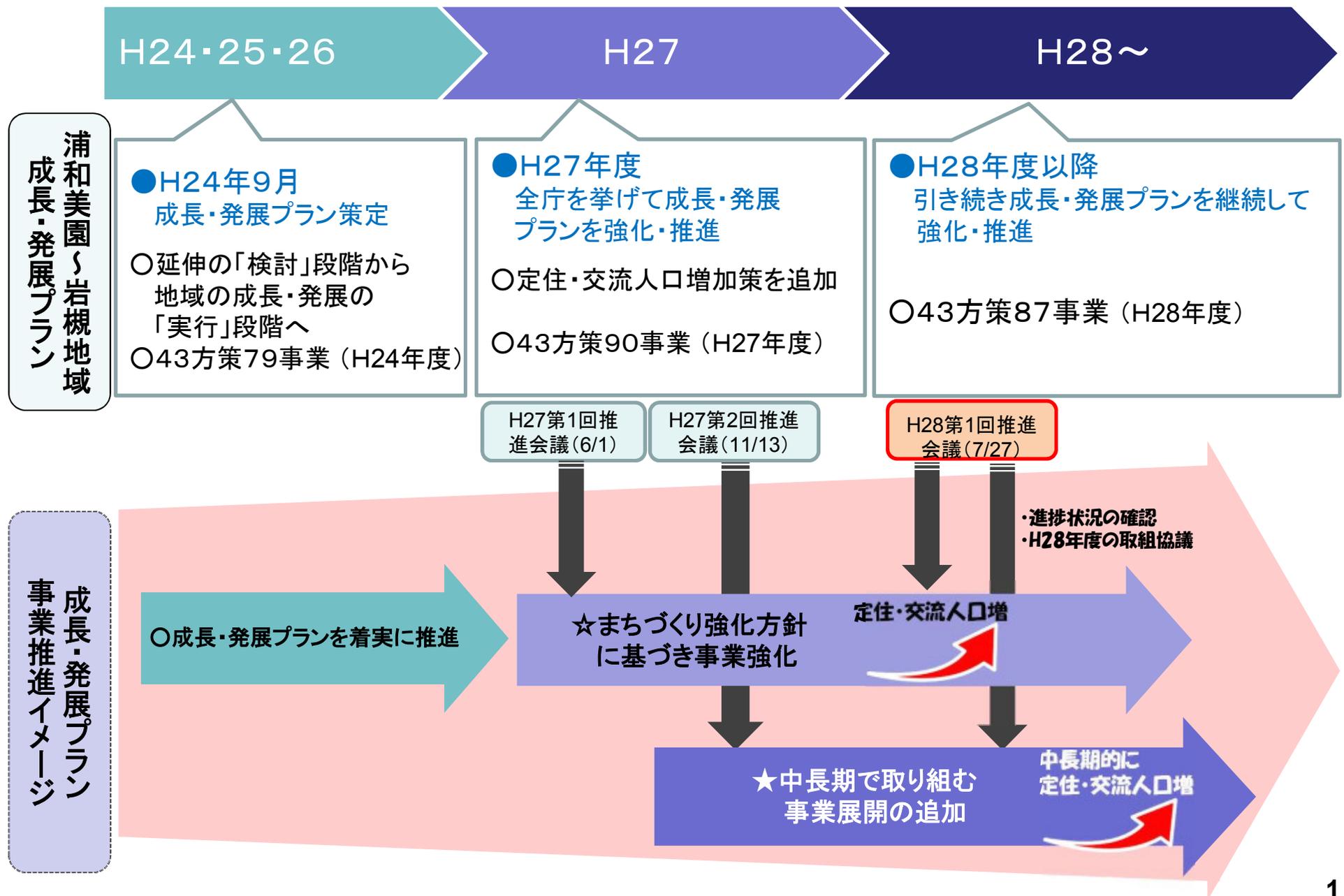
- I 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランのこれまでの検討経緯と達成状況について
- II まちづくり強化方針に基づく事業の進捗状況について
- III 今年度の重点的な取組内容について

4 その他

5 閉 会

I 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランのこれまでの検討経緯と達成状況について

(1)浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの検討経緯



(2)浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの達成状況

地区	評価指標	基準値 (H23年度)	H25年度 実績	H26年度 実績	H27年度 実績	概ね5年後の 目標値 (H29年度目標値)	評価	
浦和美園駅周辺	定住人口	4,135人	5,003人	5,566人	6,334人 (目標値6,100人)	約4千人超増 (約8,100人)	○土地区画整理事業の進展により順調に各年度の目標値を達成	
	交流人口	商業・業務施設来訪者	—	施設誘致推進中			約8千人 /日超増	○沿道に大型店舗や事務所がオープンするなど企業の進出意向は高い(一方、企業が希望する規模のまとまりのある用地が限られている)
		教育施設学生	—	施設誘致推進中			約1千人 /日超増	○埼玉県が医療機関(大学附属病院及び大学院等)を誘致中 ○新規の施設誘致を引き続き推進
		イベント開催	約424千人	約339千人	約399千人	約432千人	年約30千人超増 (約454千人)	○SRが主体となった地域住民のイベント開催などにより増加 ○H29年度の約454千人を目指す
		スポーツ振興	約29千人	約34千人	約35千人	約38千人	1試合あたり 約13千人超増 (約42千人)	○浦和レッズ戦の観客数が増加傾向 ○H29年度の約42千人/試合を目指す
岩槻駅周辺	交流人口							
	観光機能拠点	—	拠点施設事業推進中			約70千人超増	○旧岩槻区役所敷地等における集客力の高い観光拠点施設計画の推進	
	イベント開催	約451千人	約459千人	約504千人	約492千人	約30千人超増 (約481千人)	○既に概ね5年後の目標値は達成 ○今後もイベント開催などにより、更なる増加を図る	

浦和美園駅周辺での定住人口増、岩槻駅周辺でのイベントによる交流人口増など、プランは概ね順調に推進している。

Ⅱまちづくり強化方針に基づく事業の進捗状況について

(1) 浦和美園駅周辺地区

進捗中の事業について (1/2)

事業メニュー	現状	今後
<p>①都市基盤の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●都市基盤の整備により定住人口は順調に増加  <p>複合公共施設</p> <p>大型マンションの建設</p> <p>戸建住宅の建設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も保留地での大型マンション、大規模戸建住宅建設により、定住人口は増加見込 ●魅力アップに繋がるハード整備等について、住民・企業・行政等で構成される「みその都市デザイン協議会」により継続的に検討
<p>②UDCMiによるブランド化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●「UDCMi」がオープン(H27.10) ●共通プラットフォームさいたま版が完成 ●関連するスマートホーム・コミュニティについては、完成イメージをVRにより記者発表(H28.3)(現在モデルルーム6棟を建築中) ●地元産農産物等を中心とした「みそのいち」等各種イベントを実施  <p>UDCMi</p> <p>スマートホームモデルルーム</p> <p>みそのいち</p> <p>美園サイクリング & ウォーキング(チラン)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●公民+学が連携し、ソフト事業(総合生活支援サービス)の具体化に向け継続的に検討 ●平成28年度中にモデルルームを含めた約30棟が完成予定

進捗中の事業について (2/2)

事業メニュー	現状	今後
<p>③SR等の民間企業と連携したイベントの実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●SR等が主体となり「第1回浦和美園まつり&花火大会」を実施(約3万人の来訪者)(H27.10) ●SR等が実施するイベントを市のウェブサイトでPR  <p>浦和美園まつり&花火大会</p> <p>SRイベント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●イベントの継続・定着に向け、第2回浦和美園まつり&花火大会実行委員会を実施中(さいたま市は、委員として参加) ●地域のイベントをウェブサイトで引き続きPR
<p>④子育て支援機能の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●小中学校建設に向け、H28年度予算で基本・実施設計費を計上 ●新たな保育所が開所(H28.4)  <p>新設保育園</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●H31年度、小学校・中学校の開校に向け計画を推進 ●児童数増加を見込み、今後も保育所整備を検討
<p>⑤関係部局、関係機関等と連携した施設誘致の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●埼玉県が医療機関(大学附属病院及び大学院等)を誘致中 ●民有地では商業施設が立地  <p>大型家電量販店オープン(H27年4月)</p> <p>商業施設オープン予定(H29年3月)</p> <p>大型家電量販店完成予定(H28年11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も民有地で商業施設等の建設が見込まれる

【中長期で取り組む事業】

・定住・交流人口増の飛躍に向けた地域主体(住民・企業)のまちづくり

H27.11.13 推進会議指摘事項	進捗状況	目標
<p>○本市の取組を一番見せやすいエリアと捉えた施策展開</p> <p>◇浦和美園駅周辺は「UDCMi」、「みその都市デザイン協議会」により民間活力を最大限活用した住民・企業主体のまちづくりを推進</p> <p>◇オリンピックの開催を見据えて世界に発信できる先駆的な本市の取組を検討(「国家戦略特区等の導入検討」、「スポーツのICT化」)</p>	<p>◇公民+学で組織される「美園タウンマネジメント協会」を中心に具体的な生活支援サービスを検討中。</p> <p>◇また、住民、企業、大学等で組織される「みその都市デザイン協議会」によりまちの規範となる都市デザイン方針策定に向けた検討を開始。</p> <p>◇次世代自動車・スマートエネルギー特区に代わる新たな特区指定に向け検討中。</p>	<p>住民・企業主体のまちづくり (民間力の最大限の活用)</p>  <p>住民・企業が主体のまちづくり 行政からまちづくりの主体を「住民・企業へ」</p> <p>⇒エリアマネジメントのステージへ</p> <p>交流・定住人口UP</p>

(2) 岩槻駅周辺地区

進捗中の事業について (1/3)

事業メニュー	現状	今後
<p>①旧岩槻区役所敷地の活用・賑わい創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●旧岩槻区役所敷地機能配置について、検討業務を発注(H28.3) 	<ul style="list-style-type: none"> ●旧岩槻区役所敷地の機能配置の具体化  <p>H31年度に完成予定の人形博物館イメージ図</p>
<p>②回遊性を高める環境整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●裏小路について地元協議会を立ち上げ本格的な議論を開始 	<ul style="list-style-type: none"> ●裏小路のまちなみルール作成
<p>③都市基盤の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●岩槻駅西口が開設(H28.5)。岩槻駅西口駅前通り線が、全線で暫定利用を開始(約1.3km) ●西口土地区画整理事業、駅舎、観光案内所整備を推進中  <p>土地区画整理事業</p>  <p>岩槻駅舎</p>  <p>西口駅前通り線</p>  <p>観光案内所(イメージ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●H28年度中に岩槻駅舎、観光案内所が完成予定

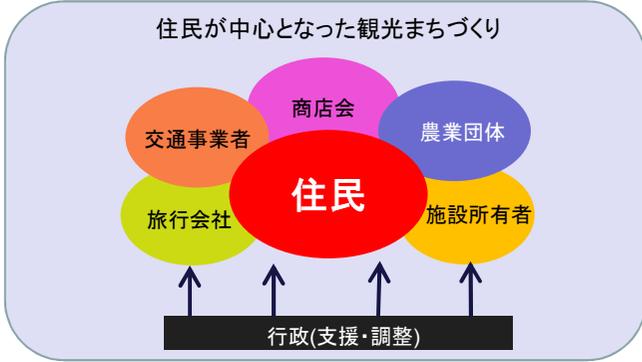
進捗中の事業について (2/3)

事業メニュー	現状	今後
<p>④既存イベントの改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●鷹狩り行列の改善やいわつきマルシェin目白大学などの新規イベントを実施。イベントによる交流人口は順調 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="text-align: center;">岩槻鷹狩り行列 いわつきマルシェin目白大学</p> <ul style="list-style-type: none"> ●その他、旅行会社がツアーを企画・実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●引き続き、既存イベントの改善を検討 ●旅行会社等による新たなツアーの開催
<p>⑤外国人観光客に対応した方策の追加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●岩槻、浦和美園を多言語対応検討エリアの重点地区に加える見込み ●観光ボランティアで英会話ができる方を募集中 (7月1日～7月31日まで) 	<ul style="list-style-type: none"> ●東京オリンピックまでに岩槻、美園エリアを多言語対応することを検討中

事業メニュー	現状	今後
<p>⑥施設誘致</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●民間企業による施設が立地  <p>商業施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ●企業立地の意向はあるものの、まとまった土地が少ない状況  <p>宿泊施設 (H29.1オープン予定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少が始まる中、副都心に相応しい施設誘致の推進が必要
<p>⑦コンパクトシティに向けた計画的誘導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●立地適正化計画作成に向け、人口分布や高齢化の推移、都市交通、都市機能などについて、現状及び将来の見通しを分析  <p>立地適正化計画区域 (イメージ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●居住誘導区域、都市機能誘導区域の設定案の作成を行い、H28年度末には「立地適正化計画」を策定、H29年度に公表予定
<p>⑧定住化に向けたインセンティブ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●定住促進を図るため、住民目線での岩槻、浦和美園の魅力コラムにして、ウェブサイトで発信 ●定住化に向けた具体策を検討中 	<ul style="list-style-type: none"> ●西口土地区画整理事業の地権者を対象に土地活用セミナーを実施 ●若年層世代の定住等効果的な施策が必要

【中長期で取り組む事業①】

・（仮称）岩槻人形博物館等の建設に伴う地域への回遊・賑わい創出

H27.11.13 推進会議指摘事項	進捗状況	目標
<p>○副都心としての機能の充実・観光資源を活かしたまちづくり</p> <p>◇関係局連携のもとにスケジュール感をもって取り組み、早期に実現できるよう検討すること</p>	<p>◇（仮称）岩槻人形博物館等の整備と合わせ、裏小路のまちなみルールの作成など、周辺の回遊・賑わい創出に向けた取組を推進</p>	<p>（仮称）岩槻人形博物館整備を契機に 点在する歴史・観光資源を散策</p> <p>⇒ 回遊ルートの形成</p> <p>交流人口UP</p> 

【中長期で取り組む事業②】

・市街化区域外も視野に入れた施設誘致

H27.11.13 推進会議指摘事項	進捗状況	目標
<p>○実効性のある一体的な推進体制の構築</p> <p>◇来年度、調査等を実施しつつ推進体制についても検討していくこと</p>  <p>(施設イメージ)</p>	<p>◇「地下鉄7号線延伸沿線まちづくり検討業務」を発注済</p> <p>◇調査の中で沿線の現状や条件整理を行う</p>	<p>土地利用のビジョン策定</p> <p>中・長期視点での 交流・定住人口UP</p> 

Ⅲ 今年度の重点的な取組内容について

(1) 浦和美園駅周辺地区、岩槻駅周辺地区の現状の整理と推進の考え方

浦
和
美
園

- 都市基盤整備が進み定住人口は順調に増加
- 企業主体の新たなイベント開催により交流人口は着実に増加
- アーバンデザインセンターみその、都市デザイン協議会等による地域主体のまちづくりがスタート

岩
槻

- イベントによる交流人口は順調。駅舎等整備も進展
- 様々な観光資源を有しているが、資源が点在しているため、回遊性を高めることが必要 ⇒ <課題>
- 人口減少傾向にあり、高齢化が高まっており、副都心としての活力低下が懸念 ⇒ <課題>

- ・順調な流れを更に加速
- ・全庁挙げて43方策を着実に推進
※まちづくり強化方針に基づく事業、
中長期で取り組む事業含む

※課題について、今年度重点的に取り組む

■検討の方向性

<交流人口増について>

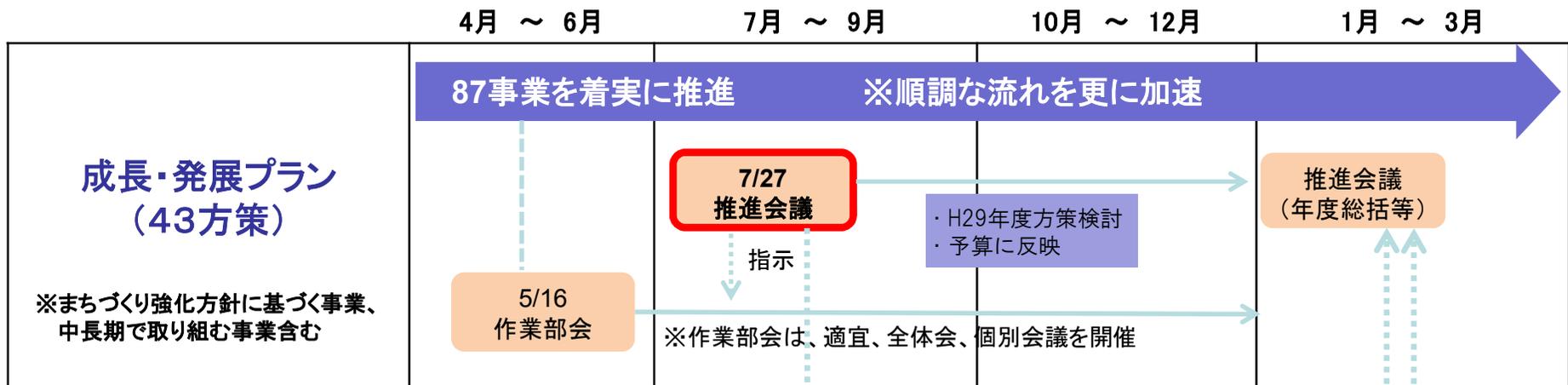
(仮称)岩槻人形博物館等のオープンに向け、回遊性を高めるための取組については、関係所管が情報共有し、連携を図ることで相乗効果を引き出す。

<定住人口増について>

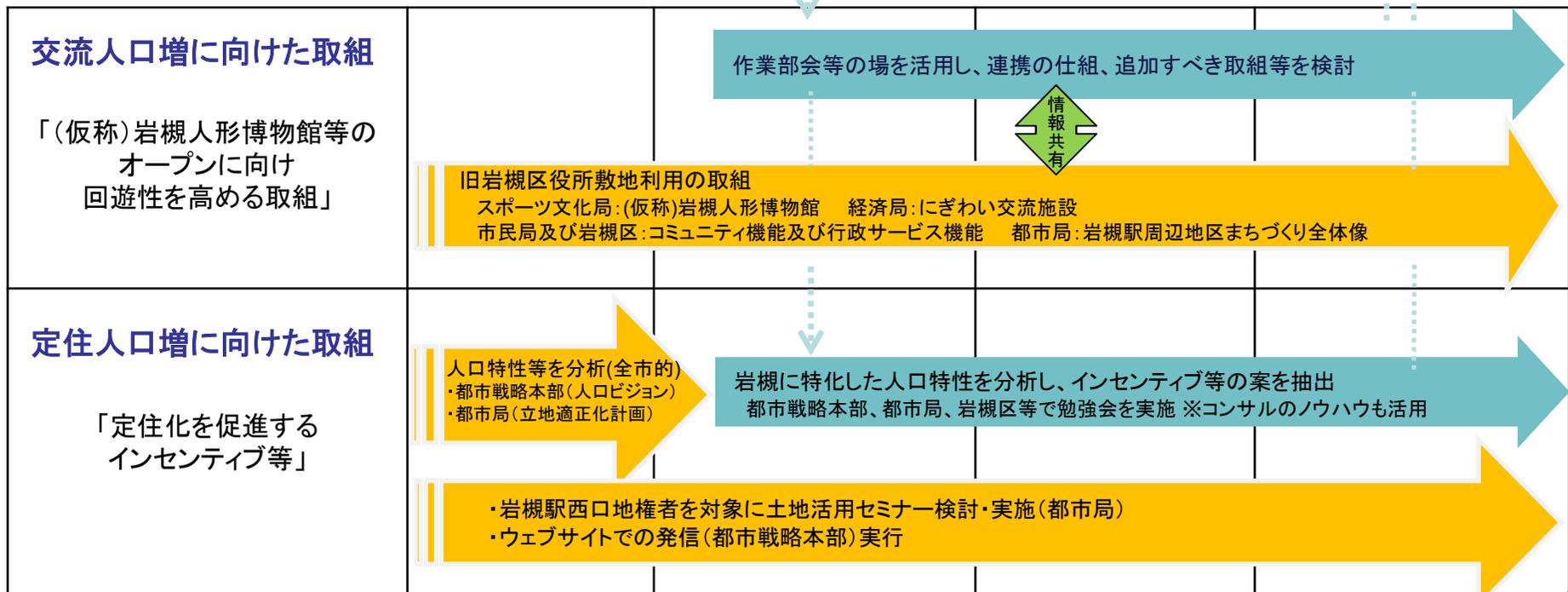
岩槻の人口特性(ターゲット)等を把握し、定住化を促進するインセンティブ等を検討する。

(2)平成28年度スケジュール(案)

①浦和美園～岩槻地域成長・発展プランの推進(全体的な流れ)



②岩槻駅周辺地区における交流・定住人口増に向けた取組の推進(重点的な取組の流れ)



平成 28 年度 第 1 回浦和美園～岩槻地域成長・発展推進会議 議事概要

1. 日 時：平成 28 年 7 月 27 日（水） 15：15～16：10
2. 会 場：さいたま市役所 4 階 政策会議室
3. 出席者：（座長）清水市長、（副座長）遠藤副市長、日野副市長、本間副市長
（委員）技監、都市戦略本部長、都市戦略本部理事、財政局長、
スポーツ文化局長（代理）、環境局長、経済局長、都市局長、建設局長、
見沼区長、緑区長、岩槻区長

4. 議事概要

（1）あいさつ（座長）

- ・浦和美園では浦和美園駅東口複合公共施設やアーバンデザインセンターみその開設、また、みその都市デザイン協議会も設立された。岩槻では岩槻駅への急行停車、西口の開設が実現した。
- ・成長・発展プランの推進は、全市的に進めている「しあわせ実感都市選ばれる都市」への実現にもつながるものであり、大変重要な取組である。
- ・本日は、昨年度策定したまちづくり強化方針の進捗状況や課題を確認した上で、地域の成長・発展に向けた議論をしたい。

（2）事務局説明

- I 浦和美園～岩槻地域成長・発展プランのこれまでの検討経緯と達成状況について
 - II まちづくり強化方針に基づく事業の進捗状況について
 - III 今年度の重点的な取組内容について
- を一括して説明。

（3）議事に関する意見交換

■浦和美園駅周辺地区について

- ・UR 都市機構が施行する浦和東部第二、岩槻南部新和西地区は、本年度工事が完了予定である。現在、戸建住宅、マンションなどが着々と建設されている。
- ・市施行地区である浦和東部第一地区も引き続き事業を進めていく。
- ・昨年度末、みその都市デザイン協議会が設立され、今後の都市のあり方「都市デザイン方針」の策定に向け検討を進めている。
- ・昨年 10 月、市も参加している美園タウンマネジメント協会が多様な生活支援サービスなどを展開する拠点として、アーバンデザインセンターみそのをオープンした。現在、協会には 30 団体が加盟している。
- ・進行中の主な取組として、まず、地元農家を中心とする「みそのいち」を 5 月から 2 回開催している。将来的には自立運営を目指している。
- ・2 つ目は「美園健幸度向上プロジェクト」で、自転車の活動量なども計ることがで

きる健康事業である。

- ・3つ目は共通プラットフォームさいたま版を活用した取組として、(仮称)美園ポータルサイトのモニター検証を7月1日から行っている。このサイトでは、家庭のデジタルテレビを使い、電気・鉄道・ゴミ出しといった生活情報やイベント等の地域情報の閲覧、家庭のエネルギー分析も行える。また、子供の見守りサービスやマルチモビリティシェアリングなども年度内にリリースしていく。
- ・スマートホームについては、6棟のモデルハウスを建築中であり、今年度中に33戸の整備を行う予定で、年度内の入居を目指している。
- ・「日光御成道 美園 大門宿まつり」については、本年は10月22日に埼玉高速鉄道が開催する浦和美園まつり&花火大会と同日に開催する予定であり、相乗効果による交流人口増につなげたいと考えている。
- ・浦和美園はスマートホームなど、個々の事業によりブランド化が図られてきた。
- ・2年位前に政策局を中心にキャッチフレーズを考えるなど、美園全体のブランドイメージを上げる検討をしていたが、全体的な戦略の成果が出ていないように思える。
- ・今年度はこの推進会議の場も活用して、もう少しブランドイメージが上がるような新しい方向性、施策を打ち出していてもいいのではないかと。
- ・ブランドイメージについては、1年ほど前に美園のキャッチフレーズとして「100年美しい園」というフレーズを作った。最近では「みそのいち」などのパンフレットにも掲載しPRを図っている。
- ・キャッチフレーズだけでなく、調節池の活用など、新しい都市であることを宣伝できないかという協議をみその都市デザイン協議会で進めている。
- ・昨年、岩槻で急行列車の停車をPRするよう指示があったが、美園もブランド化を図る取組の強化を図っていく。
- ・住みたくなるようなまちにしていくことが重要であり、今後も十分な検討をしてほしい。
- ・企業誘致という視点も重要である。岩槻も含めてこの地域に進出したいという企業はどの程度あるのか。
- ・企業誘致、進出については、美園、岩槻エリアに限ったことではないが、生産や物流系などの意向はあるが、規模的に大きなエリアとなるため、オーダーになかなか応えられていない状況にある。
- ・オフィス需要についても、企業を集約して大宮駅周辺や新都心駅周辺に大きなオフィスがほしいというオーダーはあるが、なかなか応えられていない状況にある。

■岩槻駅周辺地区について

- ・岩槻区では各種イベントの充実に努めている。「城下町岩槻鷹狩り行列」では、これまで行列の参加者を市内在勤在学在住の方に限っていたが、今年度は市外の方も参加できるよう検討を進めている。

- ・昨年度初めて実施した食の祭典「岩槻マルシェ in 目白大学」についても、今年度は地元出展者を増やすなどして継続実施していく。また、見沼、緑、岩槻の3区が連携して行っている「日光御成道ふれあいウォーキング」についても、今年度は岩槻駅を出発し浦和美園駅をゴールするこれまでとは逆のコースを計画し、来場者増につなげたいと考えている。
- ・(仮称)岩槻人形博物館は、デザインビルド方式により整備することとし、これまでにアドバイザーの業務委託を通じて基本計画と基本設計の修正に着手した。
- ・7月13日に総合評価方式による一般競争入札の告示を行った。今後の進行スケジュールは8月には入札の参加表明を受け付け、9月には提案書の提出、11月には落札者の決定・仮契約を経て来年の3月には本契約を締結する予定である。
- ・その後、実施設計・建設工事を行い、東京オリンピック・パラリンピックの開催の前の平成31年度内の開館を目指している。
- ・にぎわい交流施設については、6月21日にさいたま商工会議所からの要望が出ている。それを踏まえ、にぎわい交流施設の検討は経済局が主管となった。
- ・事前に民間企業の進出要望の意向等を伺っているが厳しい状況にある。人形博物館の開館に合わせるという課題もあり早急に検討を進めていく。
- ・岩槻の観光案内所については、来年2月末に行われる「流しびな」や「まちかど難めぐり」開催までにオープンすることで調整を進めている。
- ・歴史街道については、昨年度裏小路まちなみづくり協議会を設立した。
- ・住民等が主体となりまちなみを作り、市が主体で道を造るという役割分担をしている。現在、まちなみルールの検討を進めている。
- ・コミュニティサイクルは、先行して大宮で実施しているが収支は厳しい状況にある。岩槻駅周辺は、成長戦略の中でスケジュールは示されているが、今後十分な検討が必要である。
- ・今年、沿線まちづくりの具体的な検討を行うようだが、土地利用規制や基盤整備に係るコスト等の課題がある。それらの課題点の核心をとらえ、何が出来るのかを具体的に考えていってはどうか。色々と協力はするので、ぜひお願いしたい。
- ・今年度、「地下鉄7号線延伸沿線まちづくり検討業務」を行う。この中で有識者や流通業界等の事業者の意見を聞き、市街化区域以外も視野に入れた沿線のまちづくりのあり方を検討する。検討にあたっては、都市局・経済局などの関係機関と進めていきたいので、協力をお願いしたい。
- ・4月に地下鉄7号線の延伸に関する交通政策審議会の答申があった。最近では、市の算出した数値と国が算出した数値が異なっていることも明らかになった。この差については、理由があるが、その認識を当会議の委員も共有した上で、地域の成長・発展を検討すべきである。その説明をしてほしい。
- ・本年4月20日に交通政策審議会の答申があった。内容としては、「延伸の意義」とともに「事業性の確保に必要な需要の創出に繋がる沿線開発や交流人口の増加に向けた取組等を進めた上で、事業計画の十分な検討が行われることを期待」する旨の事業性

の課題があげられている。

- ・また、国が交通政策審議会の答申を出すにあたり、課題を示す上での数値を公表している。7月15日にホームページにアップされB/C 約0.5~0.4という数値であった。県・市が平成26年度に検討したB/C 約0.78に対しかなり厳しく見ている。
- ・これは前提条件が違い、国は首都圏の鉄道網を検証するうえで画一的に行っているためであり、例えば、埼玉スタジアムの交流人口や浦和美園の人口が増えていることは加味されていない。建設費も県・市が試算した870億に対し、国は1000億としている。この差異については、詳細に研究していきたい。
- ・国で発表した数値と市の数値がどう違うのかを早急に研究し、しっかりと説明できるようにすることが重要である。
- ・B/C などの数値・シミュレーションが変わったことで、成長・発展プランの成長目標を見直し、どの部分の計画を強化するのが地域の発展につながり、地下鉄7号線の延伸にもつながるのか、さいたま市全体にもプラスになるのかをプラスαも含めて検討していく必要がある。

(4) 座長より会議の総括(今後の取組方針)

- 政治、行政、市民等が役割分担を明確にし、その上で関係局は企画をしっかりと精査し、平成29年度予算に反映すること。
- 浦和美園駅周辺地区は、都市基盤整備やアーバンデザインセンターみその、みその都市デザイン協議会など順調な取組を更に加速させること。都市イメージもしっかり検討していくこと。
- 岩槻駅周辺地区は、(仮称)岩槻人形博物館等の整備を契機ととらえ、回遊性を高めるための環境整備を関係局が連携して取り組むこと。また、定住人口の減少をくい止める効果的な方策についても引き続き検討すること。
さらに、中間駅周辺を含めた沿線のまちづくりについても関係局が連携し、実現性を追求すること。
- 本日出席の局長、区長は、関係する所管の作業部会の委員にこの取組方針をしっかりと伝え、庁内の連携に努め、積極的に検討するよう指示すること。

【事務局】都市戦略本部 東部地域・鉄道戦略部